

うき よ え
浮世絵

とうきょうめいしょ さんじゅうろっかせん じゅうく
東京名所 三十六花撰 十九

とうと き ね がわかきつばた
東都木下川杜若

す いろ
好きな色でぬってみよう!

さくしゃ に だい め うたがわひろしげ
作者は二代目歌川廣重、

きさいりっしょ な の
喜斎立祥とも名乗っています

した。

えど じだい お めいじ
江戸時代の終わりから明治

じだい かつやく
時代はじめにかけて活躍した

うきよ えし うきよ え
浮世絵師で、この浮世絵は、

きねがわげんざい すみだくほくとう
木下川(現在の墨田区北東)

かきつばた だいざい えが
の杜若を題材に描かれた

ものです。

かつしかく きねがわやくし じょうこう
葛飾区の木下川薬師(浄光

じ かきつばたばたん めいしょ
寺)も杜若・牡丹の名所として

し 知られていました。

うき よ え
浮世絵とは

もくはん て が にくひつ しゅほう
木版・手書き(肉筆)などの手法で

えが にほんかいが
描かれた日本絵画のひとつです。

ウェブサイトの「アーカイブ」
ページでこの浮世絵がどんな
いろみ ほか うき よ え
色か見てみよう。他の浮世絵
み もたくさん見られるよ!

